I-O DATA

Sight On 取扱説明書

「Sight On」は、共有フォルダーを監視するツールです。
共有フォルダーやファイルの更新をポップアップ通知する設定が簡単におこなえます。。
例えば、複数のパソコンで共通の Excel を作業中に、1 人が更新した場合、他のパソコンでポップアップでお知らせなどの使い方ができます。

あらかじめ対応 LAN DISK の設定画面でアクセスログを記録するように設定する必要があります。
詳細は画面で見るマニュアルをご覧ください。

対応 LAN DISK

- HDL-H シリーズ
- HDL-XV シリーズ（HDL-XVLP シリーズを含む）
- HDL-XV/2D シリーズ
- HDL-XR シリーズ
- HDL-XR/2D シリーズ
- HDL-XR2U シリーズ

対応 OS

「Sight On」は、以下の OS に対応しています。

- Windows 8.1（64 ビット版 /32 ビット版）
- Windows 8（64 ビット版 /32 ビット版）
- Windows 7（64 ビット版 /32 ビット版）
- Windows Vista（64 ビット版 /32 ビット版）
- Windows XP（32 ビット版）

20140106

起動方法

起動方法は、ご使用の OS により異なります。

※監視対象となるフォルダーの中にファイルが多数ある場合は、起動に時間がかかります。
　起動完了までお待ちください。(6000 ファイルで約 4 分)

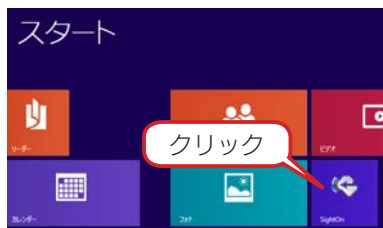
● Windows 8、8.1 の場合

[スタート] 画面の [Sight On] をクリックします。

「Sight On」を起動後、タスクトレイに常駐を開始します。

タスクトレイの アイコンから、メインウィンドウを表示することもできます。

デスクトップモードで、タスクトレイの アイコンをダブルクリックするか、アイコンを右クリックし、[SightOn メインウィンドウを表示] をクリックします。

※ [スタート] 画面に [SightOn] がピン留めされていない場合は、[アプリ] 画面の [SightOn] をスタート画面にピン留めしてください。

● Windows 8、8.1 以外の場合

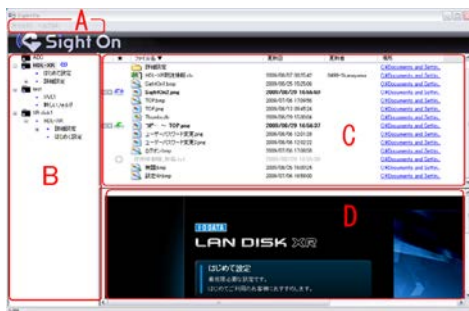
[スタート] メニュー→ [(すべての) プログラム] → [I-O DATA] → [Sight On] → [Sight On] の順にクリックします。

「Sight On」を起動後、タスクトレイに常駐を開始します。

タスクトレイの アイコンから、メインウィンドウを表示することもできます。

タスクトレイの アイコンをダブルクリックするか、 アイコンを右クリックし、[SightOn メインウィンドウを表示] をクリックします。

画面のリファレンス

「Sight On」を起動すると、次の画面が表示されます。

A：メニュー

メニュー	操作
新規ジョブ作成	監視対象となるフォルダーを設定します。作成方法については、【新規ジョブの作成方法】（5 ページ）をご覧ください。
全ジョブのデータを既読にする	監視対象となるファイルを全て既読にします。
Sight On の設定	「Sight On」の設定をします。設定方法については、【Sight On の設定について】（8 ページ）をご参照ください。
アプリケーションの終了	「Sight On」を終了します。 ※メイン画面 の右上の [X] をクリックした場合、SightOn は終了せずタスクトレイに常駐します。「Sight On」を完全に終了する場合は、[アプリケーションの終了] を選んでください。

B：ジョブリスト

監視対象フォルダーをツリー形式で表示します。
監視対象フォルダーの右側に未読ファイル数を表示します。
ジョブ名を右クリックすると、以下の操作ができます。

操作	操作
ジョブの設定	アイコンやジョブ名など変更できます。
ジョブの削除	作成したジョブを削除します。
削除ファイルを一覧から削除する	フォルダーから削除したファイルをリストウィンドウから削除します。
以下をすべて既読 / 未読にする	選択したジョブすべてのファイルを未読 / 既読にします。

C：リストウィンドウ

選択したジョブのファイル内容をリスト表示します。

新規 / 更新 / 削除をアイコンで表示するなどメールソフトのようにわかりやすく表示されます。

ファイルを右クリックすると、ファイルごとに未読 / 既読にすることができたり、ファイルの保存先を開いたりできます。また、ファイルをダブルクリックするとそのファイルが開きます。

アイコン	操作
	新規追加
	ファイル更新
	ファイル削除

D：ビューウィンドウ

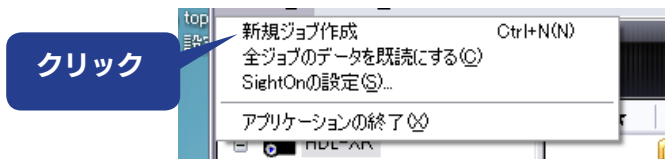
リストウィンドウのファイルが選択されている場合、ファイルの内容をビューウィンドウに表示します。

※ファイルによっては、ビューウィンドウに表示されない場合があります。

新規ジョブの作成方法

ジョブの作成方法を説明します。

※監視対象フォルダーを対応 LAN DISK の共有フォルダーに設定する場合は、ジョブの設定をおこなう前に対応 LAN DISK の設定画面でアクセスログを記録する設定を有効にする必要があります。設定方法は、対応 LAN DISK の画面で見るマニュアルをご覧ください。

1. ［ファイル］→［新規ジョブ作成］をクリックします。

2. 表示された［ジョブの設定］画面の各項目を設定します。

※ひとつのフォルダーに、複数のジョブは設定できません。
ジョブを設定したフォルダーの下位フォルダーにもジョブは設定できません。

項目	内容
ジョブ名	お好みのジョブ名を入力します。特に指定がない場合はフォルダー名が入力されます。
アイコン	お好みのアイコンに変更できます。
フォルダー選択	監視対象フォルダーを選択します。 ネットワークドライブについては対応 LAN DISK のみを監視対象として設定できます。対応 LAN DISK の共有フォルダーを指定する場合は、「¥¥landisk-xxxxxx¥disk1(**共有フォルダー名**)」を入力してください。 ※「¥¥IP **アドレス** ¥disk1（**共有フォルダー名**）」でも指定することができます。
サブフォルダーも監視対象にする	監視対象フォルダー以下のフォルダーすべてを監視対象とする場合にチェックします。
キーワードの設定	「ファイル名」や「拡張子」などのキーワードを入力することで、リストウィンドウに表示するファイルの振り分けができます。 • 除外フィルター　→　キーワードに該当するファイルが非表示になります。未チェックの場合はキーワードに該当するファイルのみ表示されます。 •OR フィルター　→　初期状態ではキーワードに対し「AND」条件となってます。「OR フィルター」にチェックすると「OR」条件となります。 **＜例＞ファイル：「ABC」「BCD」「CDE」をフォルダー内に保存。** • キーワードに「A」「B] を入力した場合 「A」と「B」の文字列がはいったファイルのみ表示されるので、「ABC」ファイルのみ表示 • キーワードに「A」「B」を入力し、「除外」「OR」にチェックをつけた場合 「A」または「B」の文字列が入ったファイルは表示されないので、「CDE」ファイルのみ表示 • キーワードに「A」「B」を入力し、「OR」にチェックをつけた場合 「A」または「B」の文字列が入ったファイルのみ表示されるので、「ABC」「BCD」ファイルのみ表示 • キーワードに「A」「B」を入力し、「除外」にチェックをつけた場合 「A」「B」の文字列が入ったファイルは表示されないので、「BCD」「CDE」ファイルのみ表示
LAN DISK パスワード	対応 LAN DISK を監視対象として設定した場合に表示されます。対応 LAN DISK に設定されている、管理者パスワードを入力します。

通知について

タスクトレイのアイコンにてポップアップで通知します。

監視ファイルの状態をアイコンで表示します。

※ Windows 8, 8.1 の場合、デスクトップモードでご利用ください。

アイコンをダブルクリックしてメインウィンドウを開いたり、右クリックで「監視の一時停止 / 再開」や「アプリケーションを終了」することができます。

・更新ファイルあり（更新ファイル数を通知）

・更新ファイルなし

・監視停止中

Sight On の設定について

「Sight On」の設定をします。

項目	操作
Windows 開始時に SightOn を開始する	パソコンの起動時に「Sight On」を開始する場合はチェックします。初期値はオン状態です
TIFF ファイルも IE コンポーネント機能を使用して表示する	TIFF ファイルも 他の種類の画像ファイル同様 IE コンポーネント機能を利用して表示させる場合にチェックします。 ※ Internet Explorer で TIFF ファイルが表示できない場合は、チェックしないでください。
画像をウインドウに合わせて表示する (TIFF 形式ファイルのみ)	写真などの画像を「リストウィンドウ」に表示する際に自動的に縮小表示します。 ※ TIFF 形式ファイルのみ対応
以下の文字列がファイルに含まれる場合無視する	設定した文字列がファイルに含まれる場合は、リストに表示されません。 文字列を入力して [追加] ボタンをクリックすると設定されます。設定された文字列を選択して [削除] ボタンをクリックすると設定から削除されます。